

# 平成19年度 東京都立園芸高等学校定時制課程学校経営報告

学校名 東京都立園芸高等学校  
校長名 小川 敏雄

## 1 今年度の取り組みと自己評価

- 自己評価 A (充分達成)  
B (概ね達成)  
C (どちらかという達成されていない)  
D (ほとんど達成されていない)

### (1) 学校への愛着や自分に誇りが持てる指導を推進する。

校外での奉仕的な体験活動や日比谷公園ガーデニングショーなどの専門的な技術を発揮する活動等を通して自己有用感を体得させ、愛校心を高める指導を行う。

【取り組み】校外での奉仕的な体験活動や日比谷公園ガーデニングショーなどの参加を積極的に進めた。

【達成度】日比谷公園ガーデニングショーに参加し、奨励賞を受賞した。専門的な技術を発揮し自己有用感を体得させることができ、愛校心も高められた。

【自己評価】A

専門的な知識・技術を活用できる資格の取得を推進する。

【取り組み】早くから資格取得の目標を持たせ、地道な指導を重ねてきた。

【達成度】造園技能検定試験においては12名を合格者させた。4年生は100%の合格で2級の合格者も出せた。

【自己評価】A

部活動等において対外試合等に積極的に参加し、活動の充実を図る。

【取り組み】多くの部活動に複数の顧問を配置し、限られた活動時間帯に生徒への指導が効率的にできるよう配慮を行った。卓球部が公式戦に参加した。

【達成度】部活動の加入率は、7割をわずかに下回った。公式戦に参加した卓球部は目立った実績は残せなかった。

【自己評価】C

創立百周年に向けて関連諸機関との連携を深め、生徒が活躍する場面を多く設定できる事業を企画する。

【取り組み】校内の百周年企画委員会にメンバーとして参加し、記念式典、祝賀会、記念誌製作、記念事業等について全日制とともに検討を行った。

【達成度】記念式典、祝賀会、記念誌製作、記念事業等について検討を行い、実施時期、会場、内容、記念庭園の設計などについて骨格を定めた。

【自己評価】B

### (2) 学業両面からの生徒指導を充実させる。

校内への標語の掲示やHR・集会などでの指導を徹底させる。また、教員の共通理解と生徒理解を深めて生活指導に当たるとともに率先して生徒に声を掛ける。

【取り組み】6月・9月・1月の各学期1回月曜から金曜までの21時から21時30分までの間、玄関や正門で教員が交代で下校する生徒に対してあいさつ指導を行った。

【達成度】生徒の行動に対する校外からの苦情もほとんどなくなったので、校内における指導に重点を置くことができた。ほとんどの生徒が、定時制の職員だけでなく、全日制の教員や来校者にあいさつをするようになった。

【自己評価】B

生徒の学習意欲を高める教材等の研究・工夫を行い、学習への姿勢を高揚させる。

【取り組み】積み重ねてきた授業内容に満足せず、新しい取り組みを取り入れ、生徒の学習意欲を高めるようにした。

【達成度】体験的な学習を多く取り入れることにより生徒の授業に対する興味と意欲を

【自己評価】B

ホームルーム活動を活性化して学校適応指導を強化し、学習及び生活指導の両面で中途退学や現学年留置者を減少させる。

【取り組み】問題行動の芽を発見したら直ちに担任教諭と生活指導部が連携して対応に当

たった。欠席がちな生徒については、家庭との連絡を密に取り、家庭訪問や三者面談などで指導を行った。

【達成度】特別指導は、数件であり、静かで落ち着いたある安心して学習できる校内環境を構築できた。長期欠席の生徒については、年間を通して指導を継続することができた。

【自己評価】B

### (3)進路指導の充実を図り、生徒の自己実現を支援する。

学校全体の進路指導計画を充実させ、それぞれの学年に応じたキャリア教育を充実させる。

【取り組み】キャリアガイダンスを7月と3月の2回行い、面接週間において学年ごとに進路相談を実施し、進路指導を積み重ねた。

【達成度】キャリアガイダンス等の全体指導と生徒個別の指導を重ねることにより進路に対する意識と勤労観・職業観を高めることができた。

【自己評価】B

生徒の進路希望に応じた企業の開拓や指定校の拡大等を行い、全ての卒業予定者の進路を確定させる。

【取り組み】早くから生徒の進路希望に応じた企業の開拓を行い、生徒個別の進路指導を進めた。

【達成度】早くからの生徒個別の進路指導を進めた結果、大学進学1名、専門学校1名、就職8名、未定2名となった。

【自己評価】B

### (4)教職員の専門的な力量を高めるための研修を充実し、魅力ある授業を創造する。

生徒の授業評価に基づく校内研修をはじめとして教科内容に関する専門性を高める研修を行う。

【取り組み】「生徒による授業評価」を7月と12月の2回行い、これに基づく校内研修会で授業改善策を検討した。

【達成度】生徒による授業評価の結果から、生徒の授業理解度を把握し、生徒の学習状況に合わせた授業進度の調整などの授業改善への課題を明確にすることができた。

【自己評価】B

生徒の多様な教育ニーズに応じることができるよう、柔軟な発想で、学習内容・方法の改善・工夫を行い、分かる授業、魅力的な授業を展開する。

【取り組み】実習を多く取り入れ興味・関心を引き出し多様な生徒の実態に合わせた教材の工夫を行ってきた。

【達成度】興味・関心を引き出す教材の工夫を行ってきた結果、生徒の意欲を高めることができた。

【自己評価】B

### (5)地域や産業界、NPOなどと連携した教育活動を積極的に展開する。

農業に関する専門性を生かして、地域の福祉施設等と連携した教育活動を推進する。

【取り組み】11月7日のボランティアの日の特別企画として、「難民を助ける会」による講演会を開催した。

【達成度】講演会という形で、本校の取組を外部の方から評価してもらうことで、生徒の日常の学習への意欲を高めることができた。

【自己評価】A

地域の小・中学校や世田谷区と連携して、奉仕活動等を行う。

【取り組み】園芸科の特性を生かして、学校近隣地域の美化活動や植栽活動等のボランティア活動を質量ともに前年より充実させる。

【達成度】近隣老人ホームや世田谷区の施設における奉仕活動、都庁花壇の植栽等、学校の特色を生かしたボランティア活動を年間を通して行った。

【自己評価】B

## 2 次年度以降の課題と対応策

(1) 学校への愛着や自分に誇りが持てる指導の推進について

校外での奉仕的な体験活動や日比谷公園ガーデニングショー世界ラン展などの専門的な技術を発揮する活動等を通して自己有用感を体得させ、愛校心を高める指導を行う。

引き続き多くの生徒が部活動に参加できるように複数顧問の配置や予算確保などで公式戦への参加意欲を高めていく。また、園芸系の部活動も外部のイベントに積極的に参加できるように指導を行う。

園芸技術専修生制度を弾力的に運用し、や教育課程の改善について具体的な改善策を策定する。

生徒主体の創立百周年記念行事を契機として、学校へのアイデンティティを涵養する。

(2) **学業両面からの生徒指導の充実について**

生徒の学習意欲を高める教材等の研究・工夫を行い、学習への姿勢を高揚させる。

ホームルーム活動を活性化して学校適応指導を強化し、学習及び生活指導の両面で中途退学や原学年留置者を減少させる。

(3) **進路指導の充実を図り、生徒の自己実現を支援する。**

学校全体の進路指導計画を充実させ、それぞれの学年に応じたキャリア教育を充実させる。

生徒の進路希望に応じた企業の開拓や大学等の受け入れ校の拡大等を行い、全ての卒業予定者の進路を確定させる。

(4) **教職員の専門的な力量を高めるための研修を充実し、魅力ある授業を創造する。**

生徒による授業評価に基づく校内研修をはじめとして教科内容に関する専門性を高める研修を行う。

生徒の多様な教育ニーズに応じることができるよう、柔軟な発想で、学習内容・方法の改善・工夫を行い、分かる授業、魅力的な授業を展開する。

(5) **地域や産業界、NPOなどと連携した教育活動を積極的に展開する。**

今後も、園芸に関する専門性を生かして、地域の福祉施設等と連携した教育活動を推進する。

地域の小・中学校や世田谷区と連携して、奉仕活動を行う。